

陸上競技研究紀要 第6巻

編集後記

予定より遅くなりましたが、平成22(2010)年度「陸上競技研究紀要第6巻」をお届けします。第1部では、査読審査を得て、「原著論文」2編、「資料」3編、「報告」1編の掲載となりました。また、第2部の「科学委員会報告」では、世界大会のデータを含んだ14編の報告がなされています。今回の「第6巻」の論文・資料・報告の中には、食育に関するものが2編含まれており、普及育成の土台となる貴重な資料として参考になるものです。トップを目指す選手・指導者の方々も、競技力向上に重要な要素である食事に関して今一度振り返り、見直すためのきっかけにはいかがでしょうか。これらも含めまして、各研究成果を大いに参考にしていただき、実際に活用されたり、さらなる研究の発展へとつながることを期待しております。

今回は、原著論文が2編でしたが、さらに多くの原著論文が掲載されるべく、皆様の投稿が増えるよう、編集委員会でも意見交換しております。以前に比べると投稿数は減少傾向にありますが、今回初めてご投稿いただいた先生もいらっしゃいますので、大学教員各位、若手の研究者・指導者には、研究論文をどしどし投稿していただきたくお願い申し上げます。特に、大学院などで学んでいる現役の選手諸君にあっても、自身の競技活動に活かすことだけではなく、セカンドキャリアトレーニングと考えると論文投稿にチャレンジしてみる、という考えなどはいかがでしょうか。

本研究紀要は、日本陸連の各専門委員会の活動や研究成果を知らせるものとなっており、小学生からトップレベルまで、競技者の普及・育成・強化につながる可能性のあるものです。なかなか日頃の忙しさのために、研究、論文投稿できない、あるいはこの紀要に目を通す余裕もないという事情もあるかもしれません。しかし、より多くの方々と情報を共有し、現場の課題を研究する、研究成果を現場で試してみる、などの実践と研究の結びつきが活発になり、陸上競技の発展につながれば、と願うものです。そのために重要な役割を果たす「陸上競技研究紀要」のさらなる充実と活用に、微力ですが鋭意努力してまいります。

平成22年7月31日
文責 佐伯徹郎（編集委員）

陸上競技紀要第6巻 編集委員会
阿江通良（編集委員長）、松尾彰文、杉田正明、渡部 誠、佐伯徹郎
（日本陸上競技連盟・事務局）風間 明、森 泰夫、佐藤峻一

「陸上競技研究紀要」第6巻

2010年8月31日発行

発行人 澤木 啓祐

発行所 財団法人日本陸上競技連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

TEL : 03-3481-2300
